
視点

キイ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

視点

【Nコード】

N3259B

【作者名】

キイ

【あらすじ】

ここはとあるバー。普通の客と変な客が集うところ。そしてこのマスターは変だと思う。今日も、俺はここにいる。

(前書き)

タイトル通り、ある視点から書いてみました。意味分かんないと思います。キイがココアを飲んだときに思い付いた小説ですので、全てが思い付きです。

ここはとある、バー。普通の客と、変な客が集うところ。そしてこのマスターは、変だと思う。

からんからん

客だ。

「いらっしやいませ」

カウンターにつく、客。

「マスター、いつもの」

嘘言うなよ、お前は常連じゃないだろ。

「はい」

ことん。そう差し出されたのは、水。…ってええ！？水！？そりゃあ、いつも水は出るけどさ！！

「ありがとう」

ありがとうー！？客は水を望んでたの！？一体どんな客だよ！？…ああそうだよ、ここは普通の客も来るけど、変な客も来るんだった。忘れてた忘れてた。

「マスター、濃厚なココアが飲みたいのだけど」

「はい、ちょっと待っててネ」

ネ、ってなんだよおい。しかも今からお湯沸かすのか…。

五分後。

「はい、飲んでちょ」

ちょ！？随分親しげだな。それより、濃厚なココアってどんなのだ？俺の位置からじゃ見えない…。

「あ、忘れてた。コレも使って飲んでちょ」

スプーン？普通に飲めるだろ。

「ありがとう」

ぐちゃ、びよーん　ズズズッ……ごくっ

…何？今の音。しかも今なんか、伸びたよね。茶色かった……はっ！？まさかっ……！！！！ココアの粉にお湯ちよびっと入れて、練りまくったみたいな！？お湯少な目なら濃厚だろってやつか！！

「うん、濃厚なココアだ。ありがとう、マスター。マスターはいつも望み通りの飲み物をくれるね」

いやだからお前は常連じゃないだろ。俺は毎日ここにいるからわかるんだぞ。それに“飲み物”じゃないだろ、それは。あえていうなら“練り物”だ。“食べ物”でもないからな。…なんだよ、普通の客は来ないのか？ツツコミ所満載で俺、熱くなって壊れそう。

相変わらずの変な音楽と、相変わらず怪しい雰囲気を漂わせる照明。どうにか出来ないか、マスター。

からんからん

お。客だ。今度こそ、普通の客だといいたんだが。

「いらっしやいませ…あら！まーちゃん！？」

なんだなんだ。マスターの顔がみるみるうちに輝くぞ？誰なんだ、まーちゃんという男は。

「マスター……覚えてるのね？」

男…だよな？なんか、女口調？もしかして…おかま？

「覚えてる…！覚えてるわよ…っ。一体今までどこに行ってたの…！？心配したじゃないっ！！」

心配？何故だ？

「ごめんね……あれ？ママは？」

「……………」

お？おお？何で暗くなるんだ、マスター。

「それが…：まーちゃんがない間に別れたのよ…」

「う…そでしょ？ねえ、うそでしょ、パパ…！」

…待て、待ってくれ、俺はついていけねえ。パパ…？つまり…：まーちゃんはマスターの子供ってことか…？それで母さんは出ていったと…、まーちゃんのいない間に。これであってるんだよな…？

「ごめん、まーちゃん…本当よ」

「そんな…ああ…ママ…」

なんか…かわいそうだな。でもツツコませてくれ、おかまの子供はおかまなのかい？いや、いいのだけど気になったからさ。

泣きくずれるまーちゃん。まーちゃんを抱き締めるマスター。まだ濃厚なココアを飲む客…：ホント、どうなってるんだ、このバーは。

からんからん

こんな時にも客だ。そりゃあ客はくるよな。ここはバーだからな。

「いらっしやいま、…：…：…：…！」

なんだ？マスターが驚いてるぞ？

「久雄…」

マスターに向かって久雄と言った客は、女。まさか…：…この展開は…。

バツ

女の声に振り返るまーちゃん。まさか…：まさか…：

「ママ…っ…！」

うそーん!!! やっぱりそんな展開ー!?

「まーちゃん…っ」

「真紀…:…どうしてここに…:お前はおかまが嫌いなんじゃ…:」

「ごめんなさいっ! 私が間違っていたわ…:あなたはあなただもの!」

「ママ…:!」

「真紀…:!」

なんだこの展開。なんだこの幸せオチ。客はまだ濃厚なココア飲んでるしよ。幸せなのはいいけど、この後どうなるんだよ。三人で抱き合いながら泣いてるけど…:。俺、疲れて元気でないよ。ああ、どうすればいいの俺…:…てか俺は何も出来ないけどさ。

なんとたって俺はこの店の、

ビーッ バチバチッ シューッ

「あ…:壊れちゃったわよ、パパ」

「あら、ホント。あたしのお店のはすぐ壊れちゃうのよ。長持ちしてせいぜい三年」

「早く取り替えなきゃね、パパ」

「そうね」

俺…:は…:, この、店の…:

(後書き)

監視カメラなんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3259b/>

視点

2011年1月2日10時51分発行